



今月の表紙
表紙の写真は、「シリーズ まち・ひと・しごと」で取材をした「鯛焼き屋 Green」の代表片野緑さんです。3～5頁で、片野さんがお店を始めたきっかけやお仕事に対する思いをご紹介しますので、ぜひご覧ください。

もくじ -contents-

広報とね	2021年4月号
2	利根町百景／もくじ
3	シリーズまち・ひと・しごと #35 懐かしい思い出の場所をつくりたい 鯛焼き屋 Green 代表 片野 緑さん
6	まちの話題
8	Pick UP !
12	暮らしの情報欄
19	防災掲示板
20	いきいき健幸ひろば
22	お知らせ -TONE Information-
26	とねワイワイくらぶ／日本ウェルネススポーツ大学通信 Campus ! 他
28	SDGs 世界を変えるための17の目標
30	保健福祉センターだより／健康レシピ
32	こんにちは！とね子育て支援センターですわが家のアイドル写真館
33	図書館へ行こう
34	利根町行政アプリのご紹介
36	とねまちプレイバック



～利根町百景～

利根川の堤防上に全長850mに渡って整備された桜並木「利根川桜つつみ」
春には、2列に並んだ18本のソメイヨシノが、見事な桜のトンネルとなり、利根町の春を美しく彩ります。
一年を通して、手厚く保護や手入れ作業を行う「桜つつみ保存会」の皆さんの努力もあり、近年は、桜の成長と共に、桜のトンネルも、息をのむ美しさへと成長しました。
今では、町内外から多くの花見客が訪れる、利根町屈指の観光スポットです。
「茨城の宝125選」にも選出された「利根川桜つつみ」に一度足を運んでみませんか。

利根川桜つつみ

- 📍 利根町布川栄橋から上流へ約650m
- 🅇 役場駐車場をご利用ください
- ☎ なし

情報をお寄せください

広報とね「利根町百景」は、読者の皆さまから寄せられた情報をご紹介しますコーナーです。利根町で見つけた美しい景色、珍百景、新百景など、利根町の魅力となる情報を写真付きでお寄せください。

【応募方法】

写真および紹介文(250文字程度)をメールで下記まで送付してください。
総務課秘書広報係 ☎ kouhou@town.tone.lg.jp



「広報とね」では、高齢者や弱視の方を含む、すべての皆さまが読みやすい紙面とするため、視認性の高い文字「ユニバーサルデザインフォント(UDフォント)」を使用しています。



シリーズ まち・ひと・しごと #35
鯛焼き屋 Green 代表 片野緑さん

幅広い年代に親しまれている町の鯛焼き屋さん



鯛焼き屋 Green
〒300-1622 利根町布川 2524-22 TEL: 090-6001-0141
営業時間: 11:00～17:30 定休日: 火曜日・土曜日・祝日
駐車場あり ホームページ: <https://taiyakiyagreen.com>

白鷺の街の商店街にある鯛焼き屋 Green。
鯛焼きのいい香りと、レトロな外観に惹き寄せられ、扉を開けお店に入ると「いらっしゃいませ」と明るく元気にスタッフの方が出迎えてくれます。
店内は、大きな黒板に書かれた種類豊富なメニューや焼き立ての鯛焼きが食べられるイートインコーナー、子どもの頃によく食べた駄菓子置かれ、昔懐かしい雰囲気と明るく丁寧なスタッフさんの接客に心地よさを感じます。
今回の「シリーズまち・ひと・しごと」は、町内外からたくさんの方が訪れ、小さい子どもからお年寄りまで幅広い年代に親しまれている鯛焼き屋 Green の片野緑さんにお話を伺いました。

大好きな利根町で新たなチャレンジをしたい
お店をオープンしたのは平成30年9月。
それまでは、看護師として14年間病院に勤めていました。
看護師の仕事に魅力を感じていましたが、その一方で、経験を重んずる責任ある立場となり、少しずつ家族と過ごす時間が減り、「このままで良いのか」と考えるようになりました。
家族との時間を大切に、子どもの成長をそばで見守りながら働く背中を見せていきたい。
年を重ねるにつれ、「自分の人生に悔いを残したくない」という気持ちが強くなり、夢の一つでもあった「自分のお店を持ちたい」という思いを家族に相談したところ、ご主人も、片野さんの思いを理解してくれ、お仕事の傍ら全面的にサポートしてくれることになり、大好きな利根町で新たなチャレンジをすることにしました。



店内では駄菓子も販売されている。昔、懐かしい味に出会えるかも